

# 基本操作

# 3

スペクトルの拡大／縮小 18

カーソルの移動 20

マウス操作 22

ページ

## 3.1 スペクトルの拡大/縮小

### ■ X軸の拡大/縮小 ■

カーソルを中心に一定の割合でスペクトルを拡大または縮小します。

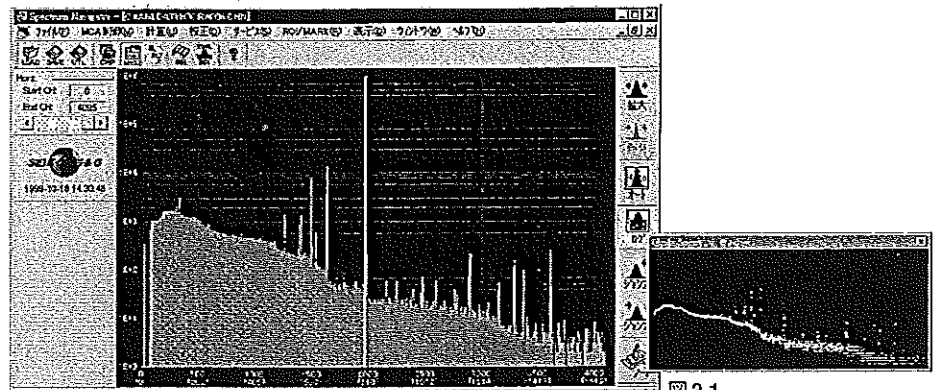
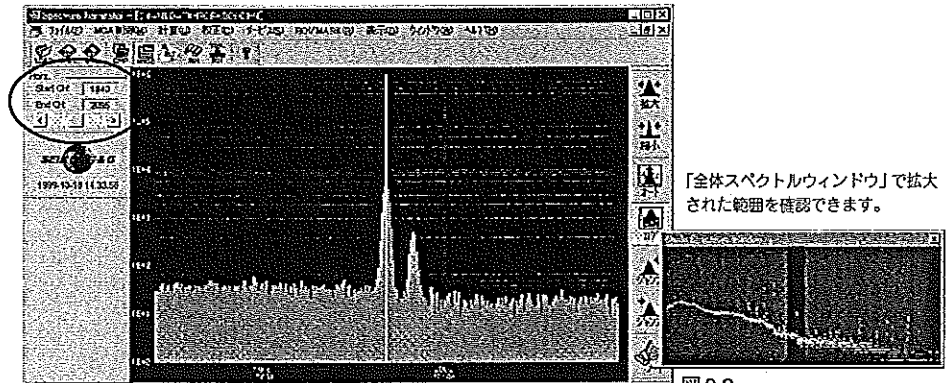


図 3.1

「Horzパネル」のスライダの位置と開始・終了チャンネルの値が変化します。

拡大4回  
↓  
↑  
縮小4回



「全体スペクトルウィンドウ」で拡大された範囲を確認できます。

図 3.2

操作方法：①～④のいずれか

- ① スペクトル表示ツールバーの で拡大し、 で縮小します。
- ② ポップアップメニューの で拡大し、 で縮小します。
- ③ Horzパネルの「 ボタン」で拡大し、「 ボタン」で縮小します。
- ④ マウスホイールを「手前に」回して拡大し、「後方に」回して縮小します。  
(Microsoft製インテリマウスをお使いの場合のみ)

任意の範囲をズーム表示で、さらに拡大できます。(p.87参照)

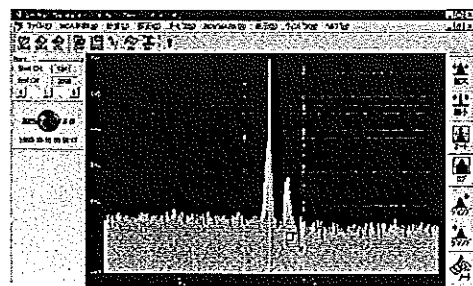


図 3.3

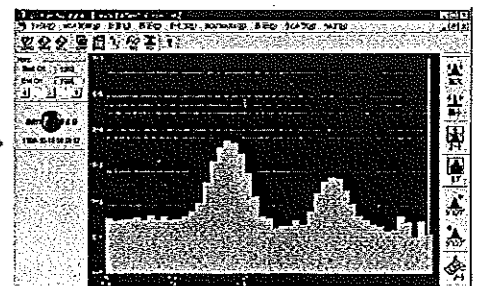


図 3.4

操作方法：①または②

- ① ポップアップメニューの でズームしたい範囲を設定し、ズーム表示します。
- ② 表示メニューの「ズーム表示」でズームしたい範囲を設定し、ズーム表示します。

## ■ Y軸の拡大/縮小 ■

### 【リニアスケールモード】

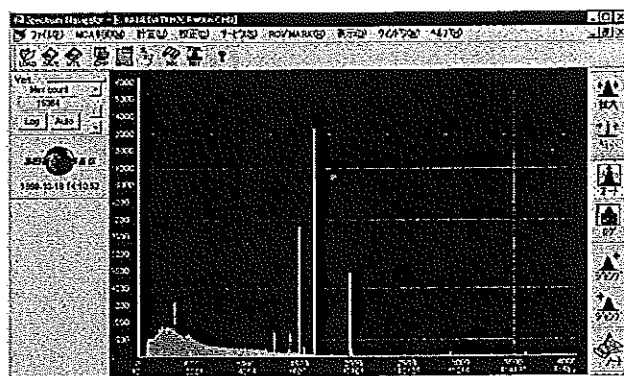


図 3.5

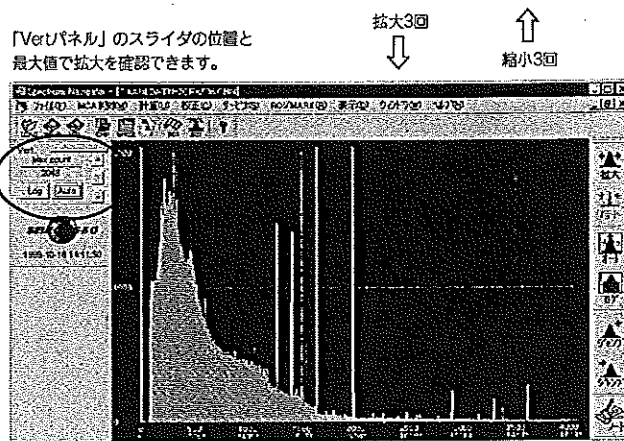


図 3.6

操作方法：(①～③のいずれか)

① Vertパネルの「▲ ボタン」で拡大し、「▼ ボタン」で縮小します。

② キーボードの「↓キー」で拡大し、「↑キー」で縮小します。

③ スペクトルウィンドウ上でマウスの左ボタンを「上方向にドラッグ」で拡大し、「下方向にドラッグ」で縮小します。

### 【Logスケールモード】

操作方法：(①のみ)

① スペクトルウィンドウ上でマウスの左ボタンを「上方向にドラッグ」で拡大し、「下方向にドラッグ」で縮小します。

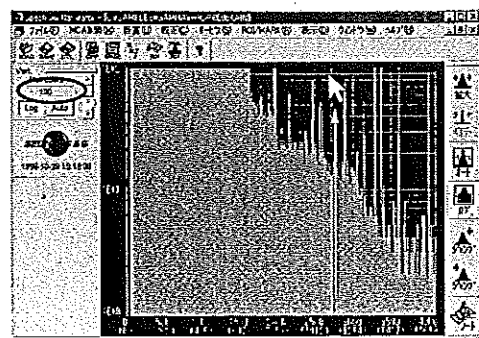


図 3.7

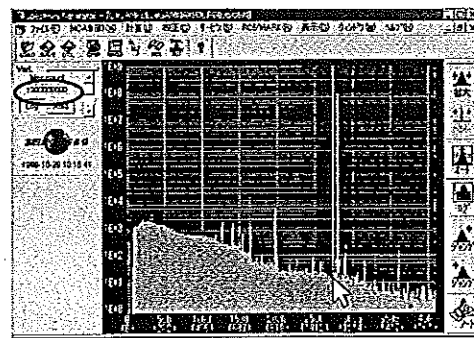


図 3.8

スペクトルを最大すると、Vertパネルに「100」を表示します。

スペクトルを最小すると、Vertパネルに「10000000000」を表示します。

※ 起動時の縦スケールは、ファイルメニューの「プロパティ - スペクトルグラフ(1)」で設定できます。(p.101参照)

## 3.2 カーソルの移動

### ■ スペクトル全体を表示している場合 ■

0～(メモリサイズ-1)チャンネルの間で任意の位置にカーソルを移動できます。

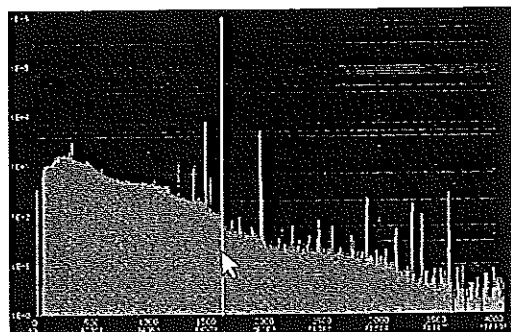


図 3.9

操作方法：(①～③のいずれか)

- ① 任意の位置にマウスをポイントしてクリックします。
- ② 任意の位置までマウスをドラッグして離します。
- ③ キーボードの「←キー」または「→キー」で1チャンネルずつ移動します。

### ■ 拡大表示している場合 ■

表示している領域内でのカーソルの移動は図3.9と同様です。(①～③)

右端より右にマウスをドラッグすると、スペクトルが左に移動し全体スペクトルの拡大部分が右に移動します。カーソルは常にスペクトルウィンドウの中心にあります。(マウスを左端にドラッグした場合は逆の動きになります。)

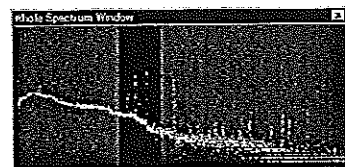
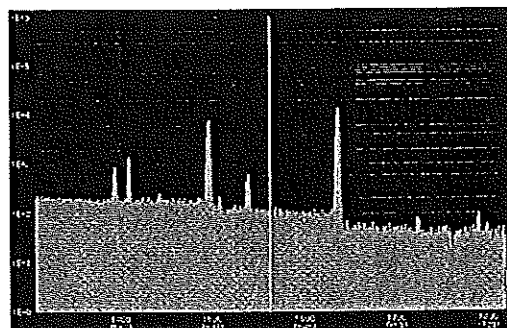


図 3.10

拡大部分

拡大部分が右に移動します。

逆に、拡大部分をドラッグしてスペクトルウィンドウに表示する領域を移動することもできます。

### ■ ズーム表示している場合 ■

表示している領域内(開始チャンネル～終了チャンネル)のみでカーソルを移動できます。

操作方法は図3.9と同様です。(①～③)

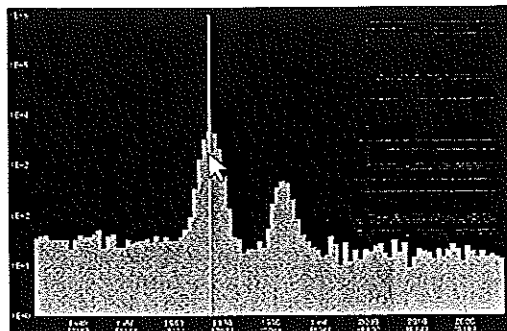


図 3.11

### ROI ジャンプ

右隣(高エネルギー側)の ROI の開始チャンネルにカーソルをジャンプさせます。

※「プロパティ-スペクトルグラフ(2)」(p.102参照)で、カーソル色をROI色に合わせる指定をしてあれば、カーソルはROIと同じ色に変わります。

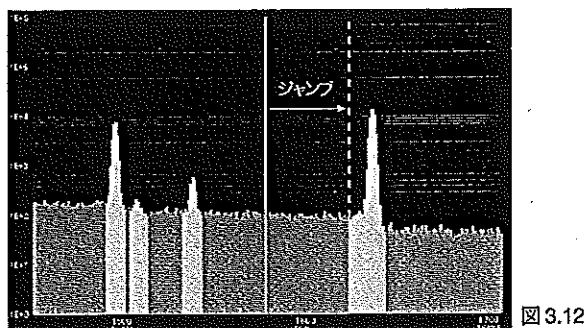




図 3.12

操作方法：(①または②)

- ① スペクトル表示ツールバーの  をクリックします。
- ② Jumpパネルの  をクリックします。

左隣(低エネルギー側)の ROI の終了チャンネルにカーソルをジャンプさせます。

※「プロパティ-スペクトルグラフ(2)」(p.102参照)で、カーソル色をROI色に合わせる指定をしてあれば、カーソルはROIと同じ色に変わります。

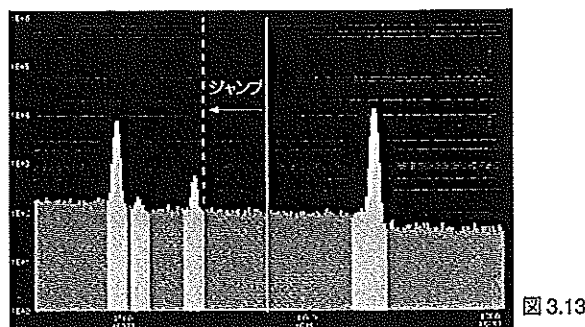




図 3.13

操作方法：(①または②)

- ① スペクトル表示ツールバーの  をクリックします。
- ② Jumpパネルの  をクリックします。

### マーカジャンプ

右隣(または左隣)のマーカにカーソルをジャンプさせます。

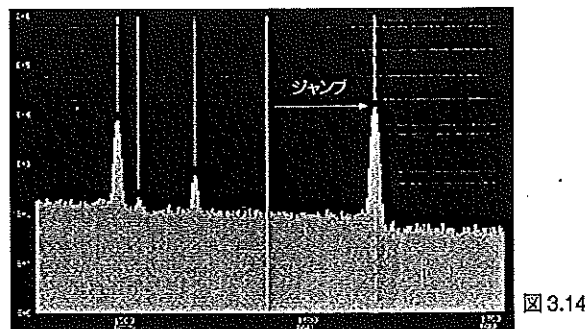




図 3.14

操作方法：

Jumpパネルの  (または ) をクリックします。

## 3.3 マウス操作

通常のマウス操作の他、Navigator 独自のマウス操作があります。

### ■ 右クリック ■

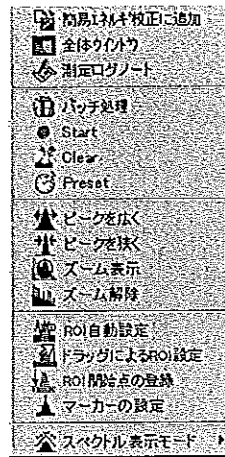


図 3.15

マウスの右ボタンをクリックすると「ポップアップメニュー」がオープンします。このメニューだけで主要な操作が行なえます。

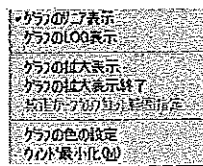
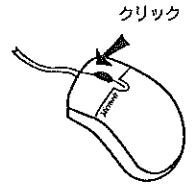
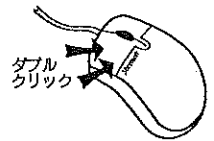


図 3.16

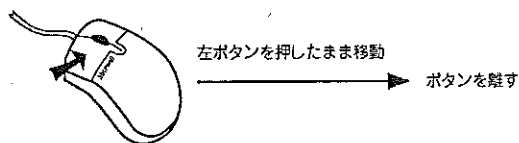
「エネルギー校正」の校正結果グラフ上でマウスの右ボタンをクリックすると、「表示メニュー」がオープンします。


### ■ ダブルクリック ■

- ① エクスプローラでスペクトルファイルをダブルクリックすると、Navigator がシェル起動します。(ローカル専用)
  - ② Navigator が起動している状態でエクスプローラ上のスペクトルファイルをダブルクリックすると、データを読み込みます。
  - ③ ファイルメニュー「プロパティ一般」で、ダブルクリックしたときの処理を独自に設定できます。(p.93参照)
- 未設定 …………… 何の処理も行いません。
- 自動ROI 設定 …… マウスポインタの位置に自動的に ROI を設定します。  
( と同様)
- 1ROI クリア …… ROI にマウスポインタがある場合、その ROI をクリアします。  
( または ROI/MARKメニューの「クリアROI/1ROIクリア」と同様)
- ピークラベル設定 …… ピークラベルを設定するために「ピークラベル編集 ダイアログボックス」がオープンします。(表示メニューの「ピークラベル表示」と同様)
- ピークマーカ設定 …… マウスポインタの位置にピークマーカを設定します。  
( または ROI/MARKメニューの「マーカの設定/トップからピークまで」と同様)
- 1ピークマーカクリア …… ピークマーカにマウスポインタがある場合、そのマーカをクリアします。  
( または ROI/MARKメニューの「クリアマーカ/1マーカクリア」と同様)
- ROIカラーの変更 …… ダブルクリックするごとにカーソルの色を変えます。この色が ROI の色になります。  
( または ROI/MARKメニューの「ROI カラーの変更」と同様)
- 全体スペクトルウィンドウの表示/非表示  
…… ダブルクリックするごとに「全体スペクトルウィンドウ」の表示と非表示を切り替えます。  
( または表示メニューの「全体スペクトルウィンドウの表示/非表示」と同様)
- X軸の拡大<ピークを広く> …… ( と同様)
- X軸の縮小<ピークを狭く> …… ( と同様)



■ ドラッグ ■



① マウスを左右にドラッグ (ポインタは ) して, ROI を設定します。(p.82参照)

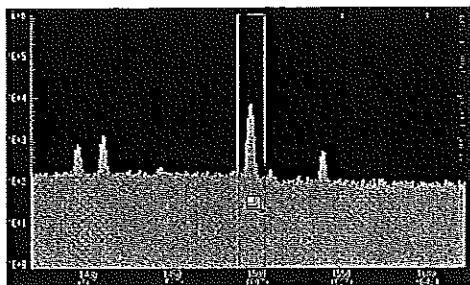


図 3.17

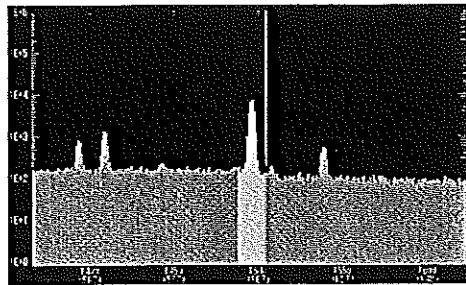



図 3.18

② マウスを左右にドラッグ (ポインタは ) して, ズーム表示の範囲を設定します。(p.88参照)

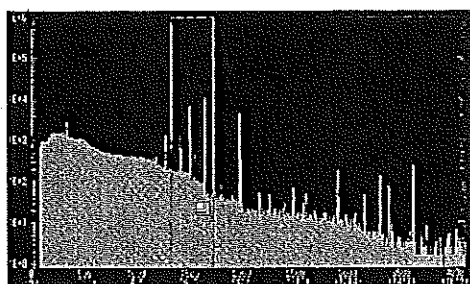


図 3.19

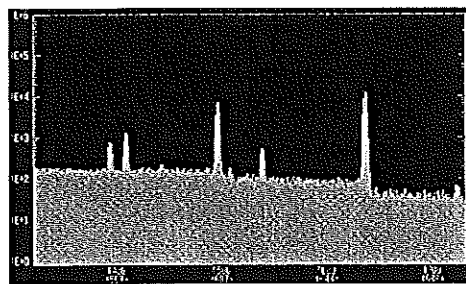



図 3.20

③ ドラッグ&ドロップ (ポインタは ) で, 「エクスプローラ」からダイレクトにファイルを読み込むことができます。

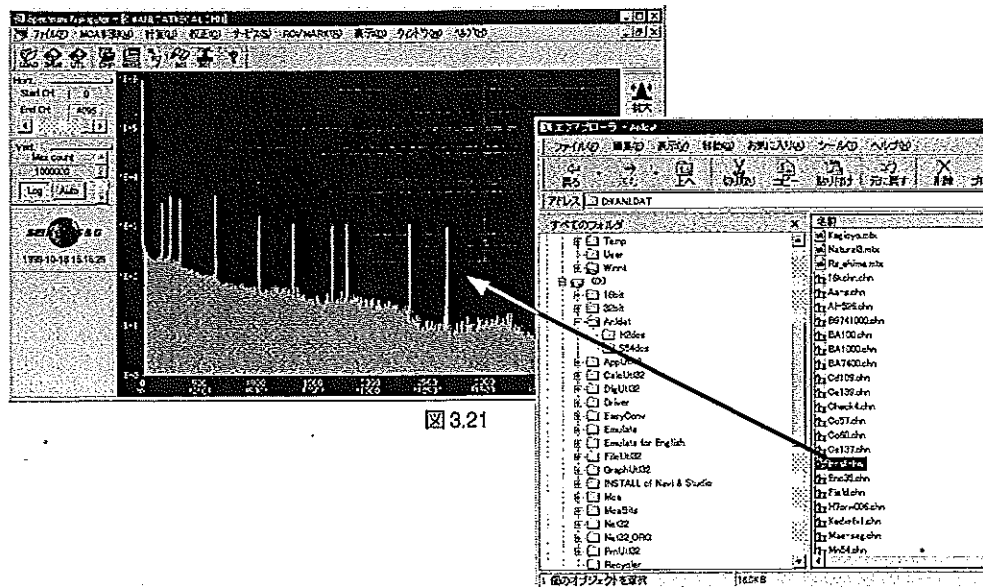


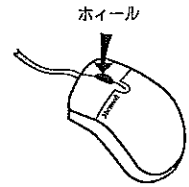
図 3.21

④ スペクトルウィンドウ上でマウスを上下にドラッグすると, 縦スケールをダイナミックに変更できます。

3 基本操作

### ■ ホイール操作 ■

Microsoft製インテリマウスの場合ホイールを「手前に」または「後方に」まわすことにより、次のことを実行します。



#### スペクトルのX軸拡大／縮小：(p.18参照)

- 手前に → 拡大
- 後方に → 縮小

#### コンペアスペクトルの平行移動：(p.83参照)

- 手前に → 下方に平行移動
- 後方に → 上方に ↗